



文化庁委託・令和八年度文化遺産保護国際貢献事業
「レバノン共和国における文化遺産国際協力拠点交流事業」

لبنان ٤ التراث الثقافي والبحر الأبيض المتوسط

レバノン 4 文化遺産と地中海

Liban 4 Patrimoine Culturel et Mer Méditerranée



ギャラリートーク開催します

(詳細は裏面またはウェブサイト参照)

レバノン北部地中海沿岸の町バトルーンの岩壁を航行する小型遊覧船 (撮影：西山伸一)

2026年6月8日(月) - 7月10日(金)

場所：中部大学 附属三浦記念図書館 エントランスホール

主催：文化庁・中部大学

後援：レバノン文化財総局・レバノン大学・中部大学レバノン遺跡調査団

開館時間：午前9時～午後9時(月～金)、午前9時～午後4時50分(土)

入場無料

閉館日：日曜日(6月14日、21日、28日、7月5日)

レバノン4

文化遺産と地中海

開催趣旨

レバノンは岐阜県ほどの大きさで、地中海に面した西アジア（中東）の小さな国です。しかし、さまざまな宗教・宗派を信仰する人々が暮らし、複雑かつ激動の歴史を歩んできました。

中部大学レバノン遺跡調査団（代表：西山伸一・人間力創成教育院教授）は、2015年より国立レバノン大学と共同で考古学調査を実施してきましたが、レバノンにおける近年の様々な困難な状況に鑑み、2020年より文化庁より委託を受け、文化遺産の保護と人材育成に乗り出しています。

4回目となる今回の写真パネル展では、「文化遺産と地中海」をテーマにレバノン沿岸部の状況と中部大学が長年調査に関わってきたバトルーン遺跡にスポットをあてます。文化遺産は、様々な人々の努力により護り、維持され、発展してゆくものです。レバノンの文化遺産の多くは、地中海との関係を抜きに考えられません。今回は、バトルーン遺跡の保存・公開を中心に紹介します。

学生・教職員をはじめ、歴史、考古学、世界遺産などに関心のある一般の方々のご来場をお待ちしております。

本展は、文化庁委託・令和八年度文化遺産保護国際貢献事業「レバノン共和国における文化遺産国際協力拠点交流事業」の一環として実施いたします。

ギャラリートーク

展示している写真パネルや、ポスターに関して解説を行います。
申込不要・途中参加、途中退出可です。ご参加をお待ちしています。

日時：2026年6月25日（木） 第1回：11：15～（約30分）
第2回：15：15～（約30分）

集合場所：図書館エントランスホール

担当：西山伸一（中部大学・人間力創成教育院）

期間：2026年6月8日（月）～7月10日（金）

場所：中部大学附属三浦記念図書館 エントランスホール

主催：文化庁・中部大学

後援：レバノン文化財総局・レバノン大学、中部大学レバノン遺跡調査団

中部大学附属三浦記念図書館へのアクセス

場所：中部大学春日井キャンパス（右図参照）

住所：〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200

電話：0568-51-1111(代表)

- ・JR中央本線「神領」下車、北口・中部大学バスのりばより名鉄バス約10分
- ・JR中央本線「高蔵寺」下車 北8番のりばより名鉄バス約10分

お問合せ先

- ・中部大学人間力創成教育院事務室 gec@office.chubu.ac.jp
- ・西山伸一 shin_nishiyama@fsc.chubu.ac.jp



会場へのアクセス
(中部大学春日井キャンパス)